

GHIT Fund、「顧みられない熱帯病入門 NTDpedia」を公開

研究開発を推進するための第一歩を目指して 約 15 億人を苦しめる感染症をわかりやすく学べる入門サイトを開設

公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（以下、GHIT Fund）は、顧みられない熱帯病（NTDs：Neglected Tropical Diseases）に対する理解と関心を深めるための特化型 WEB サイト『顧みられない熱帯病入門：NTDpedia（エヌティディーペディア）－その無関心が、誰かの日常－』を新たに公開いたしました。

サイト URL：<https://www.ghitfund.org/ntdpedia/jp>

●WEB サイト開設の背景：「無関心」という最大の課題

国連の持続可能な開発目標（SDGs）目標3「あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する」では、「誰一人取り残さない（Leaving No One Behind）」の理念のもと、2030 年までにエイズ、結核、マラリアおよび「顧みられない熱帯病（NTDs）」などの伝染病の根絶が掲げられています。しかし、NTDs は世界で約 15 億人が影響を受けているにもかかわらず、医療ツールの不足、認知度の低さ、社会的な「無関心」によって見過ごされ、取り残されているのが現状です。

本サイトは、無関心の影に隠れた世界の病気について「まずは知ること」から始め、人々が「自分ごと」として関心を持ち、課題解決に向けた社会のアクションへ繋げることを目的に制作しました。

●WEB サイト『顧みられない熱帯病入門－NTDpedia』の特徴

「NTDpedia（エヌティディーペディア）」は、NTD（顧みられない熱帯病）と百科事典（encyclopedia）を組み合わせた造語です。WHO が指定する 21 の疾患について、病気の概要、感染経路、流行地域や感染者数、予防と治療法などをわかりやすく解説し、学びを深める入門サイトとして、難解になりがちな医療課題を直感的に学べる工夫を凝らしています。遠い国の出来事という意識の壁を取り払い、「日本に住む私たちにとっても無関係ではない」と自分ごと化するための 4 つのキーワードを設けました。

- ① 気候変動により影響がある疾患：地球温暖化やグローバルな人の移動などによる蚊や媒介昆虫の生息地域の拡大により感染が拡大する可能性がある疾患
- ② 貧困や衛生環境にかかわる疾患：不衛生な水や衛生環境が整わないことにより、疾患の流行を長引かせ、貧困を進化させていく疾患
- ③ 子どもに高いリスクがある疾患：教育の機会損失や健康に影響を与え、特に子どもに深刻な負担をもたらす疾患

- ④ かつて日本でも流行した疾患：戦前戦後、昭和の時代にかつて日本でも存在し、根絶の歴史がある疾患



さらに感染経路が把握できるよう「寄生虫」「細菌」「ウイルス」「昆虫」「昆虫以外の動物」「水・土壌」「その他」に分類しました。顧みられない熱帯病の研究開発やマーケティングに従事している小谷野翔太氏のイラストを採用し、直感的で親しみやすいデザインを構築しました。なお、監修は長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科の平山謙二教授が務めています。

●「顧みられない熱帯病 (NTDs)」とは：世界で約 15 億人が直面する深刻な課題

「顧みられない熱帯病 (NTDs: Neglected Tropical Diseases)」とは、世界保健機関 (WHO) が指定する 21 の疾患群の総称です。デング熱、リンパ系フィラリア症、住血吸虫症などの感染症をはじめ、近年では蛇咬傷 (へびこうしょう) やノーマ (壊死性潰瘍性口内炎) などにも新たに対象に追加されています。これらは寄生虫、細菌、ウイルス、真菌など多様な病原体や有害な動物などによって引き起こされ、主に熱帯・亜熱帯地域の貧困環境を中心に世界で約 15 億人が影響を受けています。

●感染症が引き起こす「負のサイクル（悪循環）」

治療薬やワクチン、診断ツールの緊急性が高いにもかかわらず、公衆衛生上の取り組みや研究開発（R&D）への資金・人材が不足しています。感染症は、「貧困が病気を引き起こし、病気がさらに貧困を深める」という負のサイクル（悪循環）を引き起こします。この悪循環を断ち切るためには、安全な水と衛生環境へのアクセス改善、医療へのアクセス向上、早期診断と治療の推進とともに、教育支援や病気への理解、偏見の軽減、社会・経済活動を促す生活環境の改善が必要です。

GHIT Fund は、本サイトが学校教育や企業や団体、一般の方々に広く親しまれ、NTDs に対する社会的な関心が底上げされることを期待しています。「NTDpedia」を通じて、「顧みられない熱帯病」の存在が可視化され、理解を深めることでNTDs に対する治療薬、ワクチン、診断薬の研究開発の原動力となる社会的な支援が広がることを目指しています。

※ なお本サイトは、広く一般の皆さまに向けて作成されたサイトです。顧みられない熱帯病（NTDs）に関する推計値やデータは情報源によって異なる場合があります。複数の参考文献に基づき記載しております。ご利用にあたっては、最新の情報や一次資料をご確認いただきますようお願いいたします。

【グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）について】

公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）は、日本政府（外務省、厚生労働省）、製薬企業などの民間企業、ゲイツ財団、ウェルカム、国連開発計画が参画する国際的な官民パートナーシップです。世界の最貧困層の健康を脅かすマラリア、結核、顧みられない熱帯病（NTDs）などの感染症と闘うための新薬開発への投資を行っています。治療薬、ワクチン、診断薬を開発するために、GHIT Fund は日本の製薬企業、大学、研究機関の製品開発への参画と、海外の機関との連携を促進しています。詳しくは、<https://www.ghitfund.org/jp> をご覧ください。